

たくさんの人たちと在日韓国人、朝鮮人は、その傷跡にまだに苦しんではいはいしないか。その重たい胸の底を私たち日本人が思うなら、「償い」や「謝罪」で問題は到底解決しないことを自覚すべきです。

私たちは韓国被爆者問題が示してくれるさまざまなことを、自分の生き方の中であらえ直し、そこから出発すべきでないでしょうか。これからは韓国被爆者が生れたのか。戦後二十七年目を迎えたいまも被爆者が苦しんでいる理由。それに對し、私たち一人一人は、いまままで何を考え、してきたのか。こうした問いかけは、政治や社会、それと個人のつながりについていろいろなる事柄を教えてくれます。国が他の國を侵略するということが、日本と朝鮮の

場合は、朝鮮人を日本人に同化させようとし、強制連行した日本の植民地政策、その国策を支えた國民一人一人の意識、いままも根深い偏見。

つまり、韓国被爆者の問題とは、私たち一人一人の生き方に絶えず鋭く反省を求めてくる、そうしたひどく重たいものであるはずで、私たちの生き方をまったく変えてしまいかもしれません。その点で、私たちがかかえる公費や医療、教育などの社会矛盾と実は同じ根でつながっているといえます。私たちが組込まれている社会のしくみ、その問題を生

んでいる政治の病根まで目を向け、あるべき形と中味をたまたか取ってゆかねば、私たちは結局破滅してしまうのです。大事なものは自分身とのかかりです。自分が生きるうえで韓国被爆者の問題とどうつながっているか。同情や慈善だけで自己満足してはいないか。よく考えてみましょう。その手がかりのため、これからさまざまな資料を掲載してゆきます。

△韓国被爆者の実数(1)▽
ここにあげるのは、韓国原爆被害者援護協会(ソウル特別市)に登録している在韓被爆者の実数と、同協会調べの被爆者の症状です。(表1・2)。未登録者は協会の推定数、症状は、一人の患者で各項目に重複している例

<表1> 韓国被爆者の実数 (市・道別)

(1971年4月：韓国原爆被害者援護協会調べ)

	世帯数	登録人員	未登録者	計
ソウル特別市	284	718	300	1,018
京畿道	147	396	1,000	1,396
忠清北道	216	484	1,500	1,984
忠清南道	124	397	1,500	1,897
江原道	23	57	500	557
慶尚北道	376	689	2,000	2,689
慶尚南道	409	906	1,400	2,306
陝川郡一円	552	1,570	1,500	3,070
釜山市一円	217	573	200	773
全羅北道	96	263	1,500	1,783
全羅南道	57	175	1,500	1,675
済州道	6	21	100	121
計	2,507	6,269	13,000	19,269

<表2> 登録被爆者の症状 (1969年12月：同協会調べ)

	男	女	計
火傷(軽傷)	173	33	206
打撲傷	65	18	83
心臓病	47	28	75
性不具者	17	20	37
内臓障害	32	20	52
中枢神経	24	14	38
不眠症不具	19	14	33
重火傷	47	21	68
片脚不具者	19	14	33
白血球障害	25	11	36
鼻出血症	37	13	50
貧血症	34	13	47
ろうあ不具	15	12	27
精神異常者	37	17	54
夜盲症	15	13	28
半身不具者	83	29	112
低能児	22	18	40
病名不明	427	308	735
計	1,138	616	1,754

佐藤総理大臣への要望書

佐藤総理大臣閣下

韓国親善の為に、ひいては世界恒久平和の為に私される閣下の熱意に對し、私達は最大敬意を表するものであります。

韓国には、一万五千名から二万名に達する原爆被害者が現存するものと推定されていますが、その中の六千二百五十八名が私達の協会に登録されています。

いままでもなく私達韓国原爆被害者は、太平洋戦争当時広島と長崎に投下された原子爆弾による犠牲者であります。

勿論、無差別大量殺戮の武器として初めて使用された原子爆弾は、米(連合国側)が投下したものであります。私達は日本政府の為に徴用、徴兵、挺身隊等の名目により殺され、日本の戦争目的に使役された者であります。

強制的に連行されて、その場にいた犠牲者になった尊意の第三者である私達に對しては、スにしても何らかの対策を講じてしるべき戦争当事者であった日本及び米(連合国側)政府が当然の責を負うべき事柄と考へるものであります。

次に、在韓被爆者達(遺族及び被爆生存者、原爆被害者の問題)は提起され、原爆に對する理

もあります。「低能児」は被爆二世のケースを指します。それぞれ協会のメンバーである被爆者が苦勞して集めた「証言」であること、私達は必ず心にとめるべきです。

問題なのは①韓国では原爆そのものに対する理解と関心が薄いため、いまだに協会の存在と登録を申出て仲間と援護を訴えることを知らない被爆者が多数いると推定される。

②症状についても、いわばショウトの見ただけから分類しただけで、原爆症の認定につながる医学的な裏づけが早く望まれる。③政府、医療機関による実態調査と対策がほとんど行われていない。などをとります。(つづく)

(参考文献紹介)

- ▽「韓国の原爆被害者を訪ねて」平岡敬(中国新聞社編「広島の記事1」 未来社)に収録)
- ▽「朝鮮人強制連行」朴寿南(学芸書林「ドキュメント日本人」に収録)
- ▽「ナガサキの被爆者」部落・朝鮮・中国」西村豊行(新報新書)
- ▽「ヒロシマの証言」広島平和文化図書刊行会編(日本評論社)
- ▽「韓国・光と影」岡井輝雄(若槻書房) 保健部に若干部用意しておりますので、定価割引きでおわけします。事務局にご連絡下さい。

は、原爆やその患者達の特殊性に對し全く理解のない韓国社会に於いて、どこからかえりみられず、その生活や病状は悲慘を極めているのであります。政治的あるいは国際法の問題はしばらく措くとしても、人道的立場から見ても到底見捨てることのできない重大な問題として、今や国際的関心の的となつてい

戦後は終ったとして、これから世界平和秩序の裏を担せられんとする貴国日本が、戦前、同じ同胞だ、同じく陛下の赤子だとして呼びかけ、使役さして犠牲になつた韓国被爆者達に對し、荷やつかいにまつた今になつては、外国人だからとして無関心のままにすぎ、日本国の法律外の問題であるとして対策を立てることができないといわれる等、昔の同胞、韓国被爆者達に對する態度としてはあまりにも非人情すぎるものとして、私達は理解に苦しむものであります。

また、韓日親善を国策とする貴国政府は、韓日親善の為に韓国被爆者救済の問題に對し、政府ベースにしても、あるいは民間ベースにしても何らかの対策を講じてしるべきものではなりませんまいか。

近年、貴国核実験をはじめ、良識ある日本の個人や団体あるいはマスコミによって韓